

キャラクター名	プレイヤー名
綾城 百	

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ	ワークス	不良高校生	カヴァー	JK
オプショナル		年齢	17	性別	女の子
覚醒	犠牲	衝動	憎悪	初期侵食率	34 %
出自	姉妹	経験	絶縁	邂逅	敵意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	2			7	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転 <small>：操縦能力は低め</small>	3		芸術			知識			情報：裏社会	1	
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
対抗種一加ガレガレP		N			
妹／綾城十(アヤ)ミツ	P 幸福感	N 不安			
父親／綾城一(アヤ)ハジメ	P 幸福感	N 嫌気			
シリアロイス／自分自身		N			
		N			
		N			
		N			

最大財産P:	2	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	シンドローム					
効果：	C値-Lv							
渴きの主	1	4	白兵					
効果：	装甲無視 命中時HP+Lv×4回復 素手か赫き剣以外不可							
ブラッドバーン	3	4	シンドローム				80	
効果：	攻撃力+Lv×4 HP5消費							
ターゲットロック	3	3	セットアップ		単体			
効果：	攻撃力+Lv×3							
破壊の爪	1	3	マイナー					
効果：	素手データ変更 白兵 攻撃力+Lv+8 G値1							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー					
効果：	戦闘移動 離脱可 シンLv回							
獣の臭い	1							
効果：	「よーしよしよし……いい子ね」□□							
かぐわしき鮮血	1							
効果：	「……………っ！あっちよ」							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

あやしろ□もも

パンクファッションでナウいJK
 クールで必要以上に他人と慣れあわないツンな印象 (なかんじのRPをちゃんとPLがしたい (できるとは言ってない (がんばります
 愛称は“アヤ”、ある程度打ち解けた人物にはそう呼ぶように自ら言ってる。
 (ももって名前が可愛らしすぎて自分には合わないと思ってるのであんまり呼ばれたくない)(妹は例外)

唯一の家族である妹のことをとても大切に想っている。妹本人以外の前ではそんなことめったに口で言わないが。

好きなもの:音楽 (エレクトロ系とかハウスとかポカポカとか、電子系のそういうかんじのカッコイイヤツ (名称わからない)、ゲーム(特にゲーセンの音ゲーとかレースゲームはガチ勢、運転免許はないけど□□運転出来る)、フーセンガム、草履頭

嫌いなもの:肉 (あっさり系は別にいい)、脂濃いもの、約束を破るヤツ、はなかつぱ (妹がTV見てるが心底ウザイと思ってる)

====以下経歴的なsomething====

母親が随分と自分勝手に情緒不安定な人で、優しい父親がいつも母親のい儘やメンヘラムーブに胃を痛めながら接していたのを眺めては、自分にも温かく接してくれる父親のことは好きだったけれど自分に冷たいしすぐ物投げてくる母親のことが嫌いになっていった。
 そんな母親は小学校入るか入らないかくらいにときに遂にアヤと父親、それに生まれて間もない妹のミツを置いて家を出ていった。
 言っては悪いがアヤにとっては母親がいなくなつてからのほうが心穏やかに過ごすことができた。父親と二人で妹の世話をして成長を見届けるのが大変ではあるけれど何よりの幸せである。